

## 中央大学大学院経済学研究科 News

### 岡芹裕輝さんが国際公共経済学会修士論文賞を受賞！

本学経済学研究科修士課程2年の岡芹裕輝さんが、平成25年度の国際公共経済学会修士論文賞を受賞しました。

修士論文のタイトルは、「森林環境税の政策フレームワークとその変遷過程について」で、森林環境税の政策的な展開とその意義を分析し、とくに、使途をめぐって最新のデータを整理、集計、精査し、使途が多様化していることと併せて、そのもつ意味を検討した点が評価されました（経済学研究科、藪田雅弘教授指導）。

なお、写真は、修士論文賞の受賞にあたって、3月9日に行われた国際公共経済学会で、プレゼンテーションの様様です。同日、学会の仲上健一会長より表彰状が手渡されました。

以下、岡芹さんご自身の報告です。

「この度、修士論文を国際公共経済学会で報告できたことは、大変貴重な経験となりました。初めての学会報告ということもあり、修士論文の審査会とは全く雰囲気は違い、とても緊張しました。しかし、このような賞を頂けたことは、修士課程の集大成として誇れるものとなりました。これから社会人となりますが、この経験をばねに、さらにプレゼンテーションの技術を磨いていきたいと思えます。」



\*国際公共経済学会は「公共・協同経済研究情報国際センター」(CIRIEC: Centre Interdisciplinaire de Recherche et d'Information sur les Entreprises Collectives、International Centre of Research and Information on the Collective Economy)の日本支部として、1985年に設立され、市場経済における公共的・協同的要素に関心をよせる学者・実務家による意見交換と研究交流を目的としています(以上、学会HPによる)。本研究科の教員はもとより、博士課程の学生を中心に研究報告など活発な活動が行われています。

